

R3年度完成 事業名：公共事業調整費 防護柵設置工

所属名 藤岡土木事務所

道路(郊外部)

1. 事業概要

【路線名】一般国道462号  
 【箇所】多野郡神流町大字黒田地内  
 【概要】土留防護柵 L= 20.0m

国道462号沿いの法面において、斜面より土砂が流出している箇所があるため、流出防止策として土留防護柵を整備したものである。



2. 現場の特徴【ステップ1】

- ・国道462号線沿いに位置し、多くのツーリング客や釣り人が往来しているため、安全性の確保と周辺環境との調和を図る必要がある。
- ・道の駅「万葉の里」に近接しており、道の駅の利用客の視界に入る。

3. 事業目的【ステップ2】

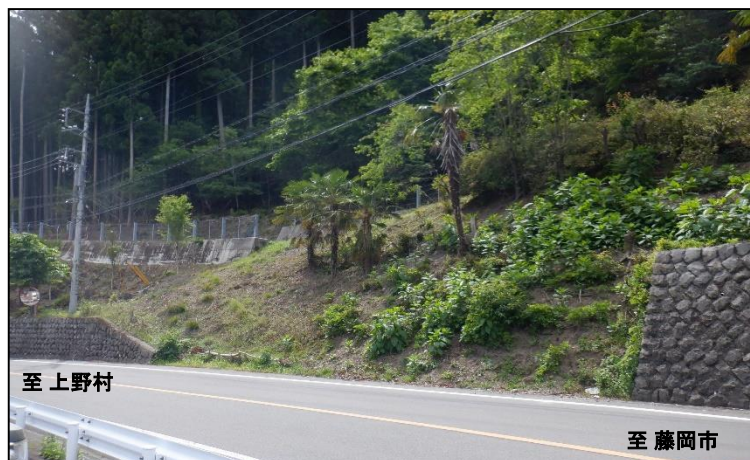
①現場から何を見せるのか  
 ・神流川沿いの自然環境に調和した景観

②どこから現場自体を見せるのか  
 ・国道462号や道の駅の利用者

③目指すべき目標像  
 国道462号や道の駅などを利用する多くの観光客の目に触れるため、周辺と調和する眺望景観を確保するとともに、また訪れたいくなる、走りたくなる道路を創出する。

4. 配慮内容【ステップ3】(完成) (整備前後の写真やコメント等)、計画済・計画中 (想定される内容) >

整備前

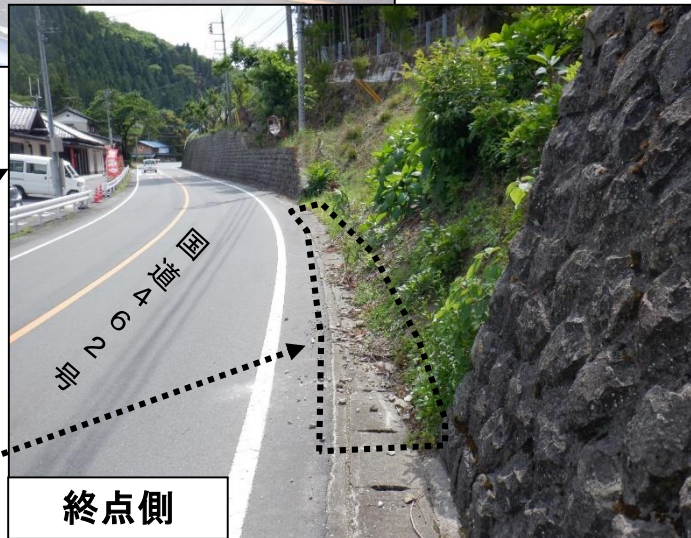


至上野村

至藤岡市

全景

道の駅「万葉の里」



終点側

擁壁間の法面から土砂が路肩に流出しており、流出防止対策が必要

整備後



至上野村

至藤岡市

全景

道の駅「万葉の里」

土留防護柵の設置により、路肩や車道への流出土砂を防止  
 →国道利用者の安全性が向上

土留防護柵は、周辺景観と調和させるため、ダークブラウン色の擬木柵を採用

→国道や道の駅の利用者の目に触れた際にも、自然な景観を確保



終点側